

ゆめだより

第13号

「お雛様登場！」

ゆめの里和田の大ホールにおひなさまが登場しました。
約40年前の豪華な七段飾りのおひなさまです。



お雛様は幸せな結婚ができるようにと願いを込めたものであり、雛人形飾りは、結婚式の場面を表現したものだそうです。そしてその時代により、大きさや顔立ちの流行があるとか。
現在は省スペースで小さめのものが人気だそうです。

平成31年3月発行
発行所 社会福祉法人松本ハイランド
〒390-1242 松本市大字和田 2240-33
Tel 40-3377 Fax 40-3370
<http://yumenosato.info>

<ゆめの里和田にて>

活動の様子



喫茶ボランティア（ゆめの里和田）



特集 ボランティア紹介

ご近所から来て下さったお客様と一緒に

月に2回、JA助け合いネットワーク夢あわせの会の喫茶ボランティアの皆様が、おいしいコーヒーを入れに来て下さっています。地域の皆様、デイサービス、特養の利用者様が一緒にコーヒーを頂きながら交流を持てる良い機会になっています。おいしいコーヒーはもちろん、ボランティアの皆様の明るい笑顔に元気をもらっています！



活動の様子



30日会（ゆめの里和田）

裁縫では、柵カバーや足ふきマット等をお願いした所、大変きれいに作って頂きました。大切にに使わせていただいています。いつも、職員が手の回らない作業を行っていただき、大変助かっています。



JA女性部波田支部の有志の皆様が、毎月30日に清掃ボランティアに来て下さっています。清掃の他にも、布切り、裁縫なども行っています。



ゆめあわせの会（ゆめの里朝日）



ゆめあわせの会の方達に來所して頂き、毎月2回、コーヒー喫茶を行っています。美味しいコーヒーを頂きながら、昔話をしたり、歌を歌ったりと、入居者の楽しみになっています。特養と宅老所の利用者との交流の場にもなっています。毎回、ボランティアさんの笑顔に癒され、笑い声にパワーをもらっています。



事業所からこんにちは

ゆめの里和田訪問看護ステーション

「和気あいあい交流会（グリーンフケア）」

訪問看護ステーションでは、毎年、「身近な人と死別を経験し、悲観してくれる人を支援し、悲しみから立ち直れるようにすること」とするグリーンフケアを、『交流会』という形で開催しています。

今年で10年目となり、10年間来て下さっている方々今年初めて参加される方をお招きし、お茶・お菓子を頂きながら、近況報告をし、故人の思い出話をして過ごしました。

趣味のハーモニカを披露して下さる方に伴奏をお願いし、みんなで歌を歌ったり、思い出のある歌を披露して下さる方の歌声を楽しんだりしました。

身近な方の別れに辛く悲しい思いをされている中、笑顔で元気に過ごされている皆さんの姿に、スタッフ一同安心し、来年もまたお会いできるのを楽しみにしています。



特別養護老人ホームゆめの里朝日

地域との交流（クリスマス会）

毎年、クリスマス会には、地元の朝日小学校の児童が来てくれ、交流を持っています。

今年で3年目。児童達も3年生になり、「おじいちゃん、おばあちゃんが喜ぶ事」を沢山考えて来てくれました。工夫を凝らした歌や劇の発表、クリスマスツリーの飾りつけなど、入居者からは笑顔があふれ、とても楽しい時間となりました。今後も定期的な交流の機会を持つていけたらと良いと思います。



ゆめの里和田デイサービスセンター

書初めて達筆披露

年の初めに書き初めを行いました。利用者に書道の師範があらわれ書道教室となりました。

集中して一筆一筆丁寧に書かれていました。

扇と今年の干支の猪の刺しゅう入れ、今年の抱負も作成しました。利用者の抱負の真ん中には、書道の師範に「真心」を書いて頂き、「他人のために尽くそう」という気持ち「を掲げ新たな気持ちで利用者の方と過ごしていきたい」と思います。



ゆめの里和田福祉相談センター

認知症サポーター養成講座開催

12月20日 ゆめの里和田デイサービスセンターにて認知症サポーター養成講座を行いました。



認知症とはどのような病気なのか、また認知症の方にどのように接したら良いのかについて、デイサービス及び特別養護老人ホーム、訪問看護の皆さんに分かりやすく、そして、実際の現場で起きている事例への対応方法等を説明させて頂きました。

これからも地域に根ざす居宅支援事業所として活動させていただき、ゆめの里の職員として認知症や地域の役割について考えてもらう良いきっかけになればと思います。

グループホーム
ゆめの里 入山辺

大正琴による演奏会に感動！

3月14日に大正琴ボランティアによる演奏会を開催しました。音の迫力に、利用者さんも職員もとても盛り上がり、懐かしの名曲や、童謡、時には皆で歌って楽しみました。



日頃、CDやピアノで音楽に触れていますが、このような機会もとても大切だと思えます。中には、涙ぐむ利用者さんもいて、感動されていました。利用者さんの喜びや楽しみが増える人生を、今後とも送ってみたいと思います。

ゆめの里朝日宅老所

バンド演奏に感動！

朝日村で永年活動しているバンド（楽団二ユーゴルドスターズ）の皆さんに12月19日（水）慰問に来ていただきました。懐かしい歌謡曲の演奏と村内の歌の上手な方に歌っていたいただきました。懐かしい曲や朝日小唄に、参加された宅老所の利用者・特養の入居者は口ずさんだり、涙する方もいらっしゃいました。



松本市河西部西地域
包括支援センター

介護予防に向けて発信

地域包括支援センターでは、「介護予防や健康づくりについて、権利を守ること、暮らしやすい地域のために」を内容とした「地域包括支援センターだより」を発行しています。

センターの職員は、各地区で行われる、ふれあい健康教室や出前ふれあい健康教室、サロン、地区会議等に出向き、「地域包括支援センターだより」を基に、ワンポイント講座として話をします。同時に、介護・物忘れ・健康相談にも応じています。介護予防・健康づくりの講座、介護者の集い等については、各地区のひろば、公民館、社会福祉協議会と共催して、講座や相談会を開催しています。

平成30年度は、JA松本ハイランドゆめあわせ大学、はつらつ大学講座でも、「はつらつと自宅で生活するために」高齢者の病氣予防、健康について」と題して、健康診断の大切さ、病氣の予防・早期発見・重症化予防、日常生活で気をつけること等について講演しました。

これからも地域のつながりを大切に、総合相談窓口として充実をめざし、介護予防に向けて発信していきます。



ゆめの里今井福祉相談センター

認知症サポーター養成講座を共催

今井地区児童センターの低学年の児童40名ほどを対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。

福祉相談センターの職員と、南西部地域包括支援センター、福祉広場職員が講師になり、まずはDVDや講義を通し、高齢者の特徴や認知症について理解をしてもらいました。

その後、「道に迷ってしまった認知症のおじいちゃんに出会ったら・・・」というテーマで職員による寸劇を行い、どんな対応が良いか子供たちに考えてもらい、やさしく声をかけてあげてほしいこと、大人に知らせてほしいこと等を伝えました。

おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に住んでいる子供たちも多く、身近な事として考えてもらえたのではないかと感じました。

今後いろいろな形で地域づくりのお手伝いをしていきたいと思っています。



ゆめの里新村宅幼老所

そば打ち教室開催

新村地区の方にお願ひし、職員5名が参加して蕎麦打ち教室を行いました。

1度だけではと、教えていただいた事を思い出しながら、職員でおさらいすると、この前よりも感覚が分かってきたねというところから「皆で、やってみよう！」と利用者の方々に見せていただくことに。利用者の前で、緊張しながらも、お蕎麦を打つことができました。先生のように、いきませんが皆さん美味しいと笑顔で食べてくださいました。

これからも、皆さんに楽しんでいただけるよう、いろんな事に取り組んでいきたいと思ひます。



特別養護老人ホーム

ゆめの里今井

まるでハワイアンセンター



2月27日 ゆめの里今井にフラダンスボランティアが来てくださいました。外は寒空でしたが、ゆめの里今井の憩いはハワイアンセンターのような雰囲気にも包まれながら楽しいひと時を過ごすことができました。

平成31年度は憩ホールの活用を増やし、入居者の方だけでなく、地域の方々にもご覧いただけるようなイベントをたくさん開催する予定です。

お楽しみに！

特別養護老人ホームゆめの里和田

施設の大ホールを開放！

今年度は和田の出張所が改修工事ということで、和田公民館を活動拠点としている育児サークル「めだかの会」に施設の大ホールを開放しました。リトミックやリサイクル会など、20組程の親子が利用し、可愛らしい子ども達の姿を見ようとご利用者の皆さんもホールに集まり楽しく交流を行いました。



ゆめの里ヘルパーステーション

食べる事って大切

言語聴覚士（ST）による嚥下についてと口腔ケアについての研修を行いました
嚥下障害とは、水分や食べ物が飲み込みにくくなる誤嚥、食べる楽しみが消失してしまうということ、在宅での食事介助は注意が必要となります。ご自分で食事が摂れる方は、ついつい早食いになってしまい良く噛まないで食べてしまったり、介助が必要な方には、飲み込みを確認してから食べて頂くことが大事になります

「ゴククン」と良い音がすることを目安の一つ。又、口腔ケアは全身の健康状態の維持・向上にもつながる為、在宅を支えていく私達は、常に意識をもつて今後もご利用者一人ひとりに合ったケアを行ってまいります。



松風園

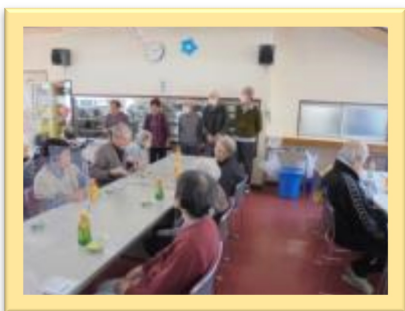
入居者主催のお茶会

3月15日、入居者の自治組織である「松友会」主催によるお茶会が行われました。

松友会の役員が、お茶会のメニューを決め、その中で複数の選択肢を用意し、入居者への聞き取りを行い、ポスター作りから当日の配膳まで行いました。

お茶会開始前に入居者代表が挨拶を行い、その中で職員に対しての感謝の意を述べて頂き、職員一同大変感激いたしました。

これからも入居者の自主性を尊重した支援をしていきたいと心を新たにしました次第です。



J A 松本ハイランドより寄付

平成31年3月15日、J A 松本ハイランドより「夢あわせポイント」の有効期限が満了となったポイントを活用し、社会福祉に役立ててほしいと100万円の寄付をいただきました。

グリーンパルで贈呈式が開かれ、J A 松本ハイランド松澤代表理事専務から社会福祉法人松本ハイランド高山理事長に目録が手渡されました。高山理事長は「組合員の思いを大切にしながら、社会福祉に活用したい」と感謝しました。

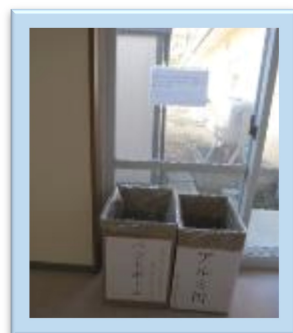
寄付金は、施設の福祉機器購入費に充てる予定です。



鉢盛中学校生徒会より寄付

2月20日鉢盛中学校で生徒会活動のアルミ缶やペットボトル回収であげた収益の贈呈式がありました。

毎年、福祉施設に収益金を寄付しており、今年度はゆめの里朝日に寄付されました。大切に使用して頂きたいと、現在施設内で検討しています。また、これを機に、ゆめの里朝日でも地域貢献と鉢盛中学校の生徒との交流も兼ねて、アルミ缶とペットボトルの回収を始めました。



施設内に回収箱を設置しました。
ご協力をお願いします

編集後記

今年の冬は、インフルエンザ等感染症が巷では猛威を振るっていましたが、おかげさまで各施設とも流行せずにひと安心！
花粉症に苦しみながら、桜の開花を楽しみにしている今日この頃です。